

えびみ

2

立川と語ろう 立川に生きよう
February 2008
écoutez bien Vol.26 No.279





写真：五来孝平

ここがタチカワ！
ここも立川！ ⑦

CINEMA CITY

(曙町)



どのくらいの人知っているだろう。戦後の全盛期、立川には南口に6館、北口に4館の映画館があった。文字通り「映画の街」。すべての劇場は姿を消して、北口は立川キネマのあった「シネマ通り」の名前のみが、その頃を偲ばせる。緑川沿いの北口3館が変身してできたのが今のシネマシティ。最高の音響と大きなスクリーン、よりお客様に満足していただくことのできたのがサンサンロードのシネマ・ツー。フード&ドリンクも本格パスタや焼きたてパンなど充実し、サービスと娯楽を提供し続けようとする姿勢は今も昔も変わらない。

特筆すべきは聴覚障害者のための邦画字幕上映だ。その上映回数是他館よりはるかに多く、さらに字幕情報をメールで受け取れるシステムも充実させた。ノーマライゼーションの理念が浸透していく中、地味だがこうした実践は聴覚障害者だけでなく高齢者にとっても優しい心遣いだ。また、特別な日のために、特別な人のためにスクリーンを借り切ることできる。大切な誰かと二人きりで観るもよし、大勢で楽しく観るもよし。昨年11月26日、子育て支援「いれたち」が、子育て中の親を対象にスクリーンを借り切った。子どもをどこかに預けるのではなく、一緒に映画を観る。おむつ台やミルク用のお湯も用意され、心安らぐ時間だったにちがいない。

〈三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー〉が選ぶ世界の優れたアニメーション作品も上映されている。宮崎駿が「運命の映画」と呼ぶ名作。観ればどンドン惹き込まれていってしまう。

シネマシティに行ってみよう。あなたにも運命の映画が待っているかもしれない。



人のためって、実は自分のためなんですね



於：カフェばくだん畑（富士見町） 写真：五来孝平

子育て・いれかわりたちかわり 代表

山中 ゆう子さん

■ 山中ゆう子（やまなか ゆうこ）／子育て・いれかわりたちかわり実行委員会（通称「いれたち」）代表。自分が子育て中に支援してくれた近所の方たち。恩返しはその人たちにするのはなく、今子育て真っ最中の人たちを支援することだ。子育て支援に携わってきた。2004年に生まれた「いれたち」は、2006年4月に立川市とのパートナーシップ協定を結ぶ。「HP いれたち・ねっと」を立ちあげ、子育て中の親やその支援に関わる関係者へ情報提供をおこなったり、子育てに関する各種イベントを開催している。一番町在住。

■ 清水恵美子（しみず えみこ）／えくてびあん編集工房

何かできるかも、と思いました。そこには大人だけじゃなくて子どももいたし、子どもからは直面している現実の問題をつきつけられました。チャイルドラインを立ち上げたのもそこからです。「いれたち」とは違う活動ですけどね。やはりこちらも「いれたち」と同じように策定委員会のプラン作りと同時進行でした。

清水 現在「いれたち」の活動内容はどんな事をしているのですか？

山中 先日「シネマのたまてばこ」をやりましたが、基本的には「いれたち ねっと」というホームページを継続していくことです。私はブログを書くことくらいしかできなくて、専門的なことは山本さんたち、まさに子育て中の若い仲間が担当してくれるんですが。HPをうまく使いながら、ネット上で情報交換とか団体同士の交流が深まればと思います。赤ちゃんが1歳を過ぎると公民館などでも預けられるし、外にも行きやすくなる。子育て支援の必要性を特に感じるのは、12ヵ月までの赤ちゃんをもったお母さんたちですね。行く所が子育て広場ぐらいしかないんです。そういったお母さんに赤ちゃんを連れて行ける場所を提供しているのが「ママと赤ちゃんのふれあいボックス」や「ベビーボンディング」。

清水 首がすわったくらいの子を連れてくるんですね？

山中 昔の感覚だとまだ生後2〜3ヵ月の赤ちゃんは家の中にいて、風に当たらない、人ごみに連れて行かない、ですよ。でも今はそれじゃたぶんおさまらない。

清水 お母さんが変わった？ 環境が変わった？

山中 う〜ん、たぶん、以前は一緒に住んでいる家族がいて、誰かしらと関わることができた。でも、今は「いってらっしゃ〜い」ってパパが仕事に行ってしまうと、ママと赤ちゃん2人ぼっち……。私は実際に赤ちゃんのいるお宅へお邪魔する機会もあるんですが、今日は久しぶりに大人のひとと話せて

よかった、という感想もあります。もちろんそうじゃないお母さんもいっぱいいますが、中には話すチャンスがなくなってしまってお母さんもらっしやるんです。

清水 そう言われれば確かに私もつまらないことで悩みましたね。相手が応えないから……。

山中 ええ、みんなそうなんです。極端な例なんですけど、おばあちゃんが生まれたばかりの赤ちゃんに一生懸命話しかけていたら、「お母さん、そんなに話しかけたって、この子はまだ言葉がわからないのよ」って言ったお母さんがいたんです。初めてお母さんになったばかりだと、どうやって赤ちゃんに接したらいいのかわからない時がある。ベビーボンディングでは助産師の先生がお母さんたちをほめながら、上から教えるのではなく相談のしてくれるんですね。赤ちゃんもマッサージで気持ちよくなり、お母さんも触れ合い方や接し方がわかっていくんです。

清水 そういう出て行く場所作りという意味でも「シネマのたまてばこ」をなさったんですね？ 私も行かせて頂きましたが、大好評だったようですね！

山中 ええ！ 私はどの程度赤ちゃんたちが泣くか心配してたんなんです。でも、思ったより赤ちゃんが泣かなかった。泣いてもお母さん同士って気にならないらしいですね。アンケートを見たら、そう書いてありました。

清水 あれは不思議ですよ。慣れていると気にならないんですよ。

山中 テーマ的にもシネマシティさんにいいものを選んで頂いて、赤ちゃんも画面を見ていたし。それと一瞬赤ちゃん全員が黙るシーンっていうのが何回かあったんです。新しい発見でしたね。

清水 この企画は継続していきますか？

山中 その辺は恐くてシネマシティさんに聞けないんです(笑)。

清水 大丈夫ですよ(笑)。シネマシティさんも、勉強になりましたっておっしゃってましたし、地元のつながりを大切にされていますから。

山中 そうですか？ こちらとしても地域の方とつながりをもっていくこ

とが、自分たちのやりたいことをやっていけるということになりますものね。映画館の都合に合わせてもいいから、年に4回ぐらいできたらいいなって思っています。

清水 私の頃だってママ友達を作るのはむずかしかったですよ。公園デビューっていうのができなくて……。

山中 小さなこと一つ一つがお母さんたちの日々の悩みなんですよ。それを「こうしなさい」ではなく、「大丈夫よ」って言ってくれる先輩が必要なんですよ。お母さんたちは優秀ですよ。いろいろな知識を持っていて。だから、できるんです、きっと。でも、ちょっと背中を押してもらいたいというかね。

清水 お母さんたちは一生懸命ですよ。

山中 ええ、みんな一生懸命やってるんですよ。だから本当にそんなお母さんたちが楽しく子育てできるように、何か私たちが元気に繋がっているんです。お母さんたちのためってやってきたことですけど、本当は自分自身がやると自己肯定感もって生きられるようになったかなって感じます。誰かのために私も役にたっているのかなって。「シネマのたまてばこ」があんなに成功したじゃないですか。お母さんたちがよかったって言ってけると、こちらもうれしい。そこへいくまでに苦勞があったとしても、やってよかったなあとという達成感、満足感を味わわせてくれる。「シネマのたまてばこ」を開けてみたら、私たち自身にもプレゼントが出てきたっていう感じです。子育て支援はお母さんたちのために始めたことでしたが、実は自分のためだったんだなって、最近思います。それはスタッフ全員がそう思ってると思いますよ。



ビジネスHOTEL クボタ	柴崎町2-12-23 522-1122
いなげや 立川南口店	柴崎町2-12-24 526-2947
株式会社 正盛堂	柴崎町2-17-6 522-2328
いなりすし・のり巻きすし 松月	柴崎町2-17-20 523-4758
小林歯科クリニック	柴崎町2-21-12 527-8217
ビューティーサロン ウィスタリア	柴崎町2-21-15 527-1116
オリオン書房 サザン店	柴崎町3-2-1 525-3111
とんかつ専門 かつ亀	柴崎町3-5-2 525-7647
西武信用金庫 立川南口支店	柴崎町3-5-15 529-1311
多摩信用金庫 立川南口支店	柴崎町3-5-22 528-2211
りそな銀行 立川支店	柴崎町3-6-29-1F 522-4161
オリオン書房 アレア店	柴崎町3-6-29-3F 521-2211
ほっとすべす 中屋	柴崎町3-6-30 522-2932
サンカメラ	柴崎町3-7-22 522-3336
Coffee Shop LARGO	柴崎町3-7-22-2F 525-6704
バッケージブラザ カサイ	柴崎町3-8-7 522-8601
けやき出版	柴崎町3-9-6 525-9909
手打ち ぎょうざ工房	柴崎町3-11-25 522-4770
こむろ 酒店	柴崎町3-14-3 522-2613
喫茶 ギャラリー花	柴崎町3-14-6-1F 524-3668

えくてびあんの輪

立川と語ろう 立川に生きよう
えくてびあんは
リストのお店にいつもあります

今月は 柴崎町・富士見町のお店です。

矢沢 歯科眼科	柴崎町3-16-2 525-6600
手作りケーキ ラ・フリーズシュクレ	柴崎町3-17-25 525-3513
株式会社 京王ストア 立川店	柴崎町3-18-10 540-1131
武本測量株式会社	柴崎町5-17-2 524-5503
サーフショップ Waioli	柴崎町5-17-14 522-7331
ジャガー 立川	柴崎町6-15-23 524-5859
NPO法人 東京 賢治の学校	柴崎町6-20-37 523-7112
株式会社 浅見 酒店	富士見町1-2-7 522-2823
伊藤 接骨院	富士見町1-4-29 524-7861
ディサービスセンター Aso	富士見町1-4-29 524-7231
井尾クリニック	富士見町1-4-29 540-3299
スーパー 肉のハナマサ	富士見町1-18-10 548-2970
手作りケーキの店 プティ・パニエ	富士見町1-22-30 529-8364
西立川児童会館	富士見町1-23-6 525-0571
さえき 西立食品館	富士見町1-23-13 529-5333
(株)ヤマダ電機	富士見町1-24-9 526-1099
株式会社 ダイクマ 立川店	富士見町1-24-9 526-1046
井上レディスクリニック	富士見町1-26-9 529-0111
中華レストラン 東華園	富士見町1-27-10 529-0458
榎本調剤薬局	富士見町1-31-18 526-2322

写真：五来孝平



碑いしぶみの命を写す

第五十回記念展を開いた立川拓本研究會

太古から、人間が永く残したいことを石に刻んで来た碑。拓本は石碑や金属の表面に刻まれた文字や画像をそのまま紙に写しとる、これも古くからある技法。一見地味だが奥の深い世界を追求して、立川拓本研究會はこのほど第五十回記念展を開いた。

立川拓本研究會は、会長の國井寿美枝さんを中心に毎月第一・三・月曜日、高松学習館で活動している。初心者にも拓本のとり方から、その後の処理まで親切に指導する。表装して掛け軸や額面の「作品」に仕上げるまでを自分たちで行い、成果を展覧会で発表する。

昨年十一月二十七日から十二月二日まで、立川市女性総合センター「アイム」ギャラリーで開いた第五十回記念展には、根川緑道などに建つ立川の「詩歌の道」句歌詩碑十三基全ての拓本のほか、同研究會が一年がかりで取り組んだ上野恩賜公園内の歴史的名碑、上野東照宮の灯籠台座拓本などが展示された。

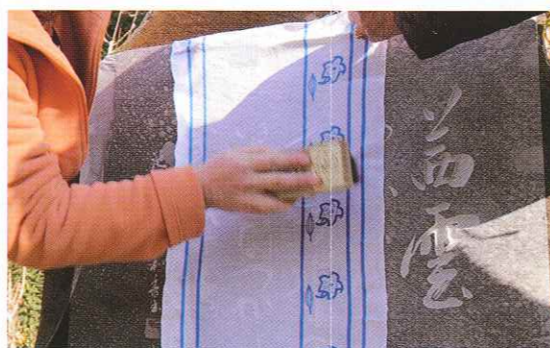
碑から拓本をとる（採拓）に同行させてもらった。場所は根川緑道。池田澄子歌碑「茜雲あえかに残り亡母（はは）の背の温みなつかし武蔵野暮るる」。まず、埃など碑の表面の汚れをきれいに拭い、そこに画仙紙をあて、水を含ませた刷毛で湿らせ、別の刷毛で叩くように石の表面に密着させる。粉墨を油で練った練り墨をたんぼにつけて紙の表面を叩いて文字を浮き立たせていく……。

言葉でいうと簡単そうだが、紙がしわにならないように貼り付けられるのも、たんぼでむらなく墨をつけていくのも、相当な経験と技術がいる。「自然石の場合は目地の模様も出すように、文字は小さい点まで正確にとること。あとは納得できるまで叩くことです。紙をはがしてしまったら修正はききませんから」と國井さん。たんぼで丁寧に叩いていくと、凹んでいるはずの文字が輝いて浮き出て見えるから不思議。書かれた時の筆遣いや筆勢まで感じられる。石に刻まれた文字に新たな命が吹き込まれる。

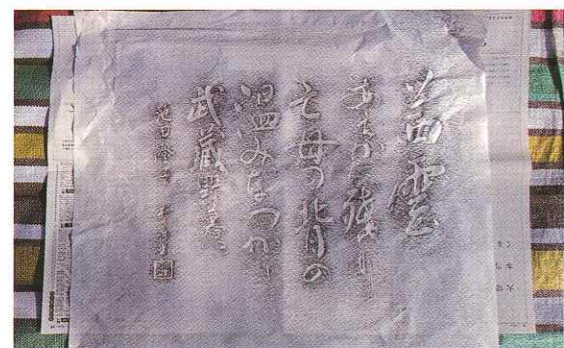
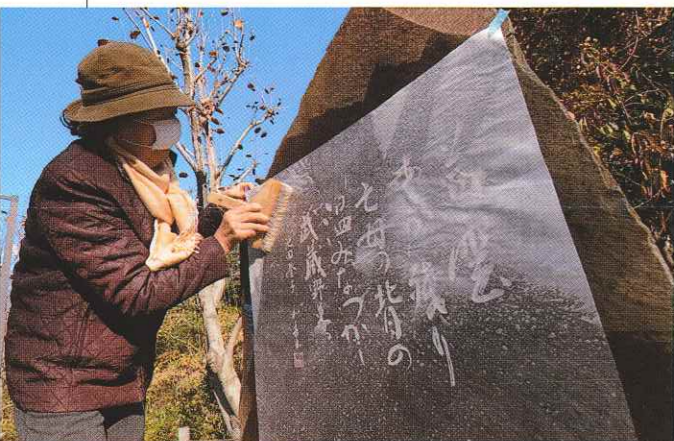
単純なようで奥深い魅力。会長の國井さんもそれに魅了されて四半世紀以上経つ。残念なのは、間違った方法や乱暴なとり方をしている人がいること。そのため名碑がありながら拓本をとらせない寺院や神社も多いという。「正しいとり方をすれば碑を汚したりすることはありません。正しいとり方を学んで拓本の世界を楽しんでもらいたい」——東京都内では唯一という拓本研究グループの活動は、息長く続く。



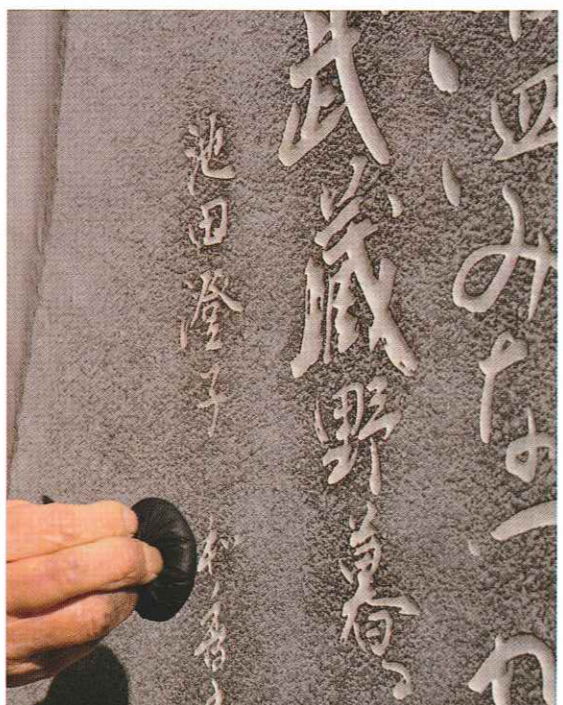
自分たちで立派に表装した作品が並ぶ



たんぼや練り墨などの道具も手作り



國井寿美枝さん



立川と多摩地域が
もっと楽しいホームページ

多摩てはこ
ネット

http://www.tamatebako-net.ne.jp/

多摩てはこネット編集工房
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609
e-mail message@tamatebako-net.ne.jp

常楽我浄

真如苑提供番組くじょうらくがじょう

スカパーフェクTV 216ch
マイテレビ 11ch

放送時間については番組表をご確認ください。

立川に育てられて七十二

真如苑

柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)
www.shinnyo-en.or.jp

ValueUp



「お客さまの声」は、
たましんの力。

たましんは、お客さまとともに価値を
創造し、夢を実現してまいります。

たましんホームページ <http://www.tamashin.jp>
たましんにご相談ください。78店舗の窓口や約500名のお客さま
担当が、お客さまの声にお応えいたします。

大廣社 多摩信用金庫

大廣社は今、「知的集約」型企業を実践しています。

先進のシステムと
最新技術との融合

株式会社
大廣社

〒190-0022 東京都立川市曙町15-17-13
tel. 042-527-1911
fax 042-527-1949
E-mail info@daikousya.jp
http://www.daikousya.jp/index.html

えくてびあん流

吉例〈ベスト立川人・展〉開催

新春恒例のえくてびあん〈ベスト立川人・展〉を今年も開催いたします。この一年えくてびあんに登場していただいた方たちを一挙紹介する写真展です。毎号表紙を飾った立川人をオリジナルプリントでご覧いただく写真家・細江英公「えくてびあん表紙の人・展」、対談・VIEWにご登場いただいた方々。人がいて、立川は今日も明日も元気です。ご来場くださった方々には、

えくてびあんオリジナルでぬぐいと、一年間の「この人・この店」登場店を掲載した別冊特集号〈イヤブックス〉をお配りしております。

第23回「ベスト立川人・展」

平成20年2月5日(火)～10日(日)
午前10時～午後7時 最終日は午後5時で終了。
会場 立川市女性総合センター・AIM1Fギャラリー

第5回 応現院文化講演会 開催

応現院文化講演会実行委員会では、真如苑の寺院「応現院」を広く一般市民の文化交流の場として利用してもらおうと、「応現院文化講演会」を開催している。3月15日に開催予定の「第5回 応現院文化講演会」では、講師に元聖マリアンナ医科大学長 長谷川和夫氏を招き、「認知症の医療とケア—今とこれから—」と題して語ってもらう。聴講希望の方は右記応募要項により往復はがきでお申し込み下さい。

主催：応現院文化講演会実行委員会
後援：立川商工会議所、立川観光協会、立川バス株式会社
協力：株式会社精神文化映像社、えくてびあん、多摩てはこネット
協賛：真如苑

【申 込】① 住所・氏名・年齢・電話番号・希望人数(本人を含めて2名まで)を明記し、往復はがきにて申込先に郵送。
② インターネットの申込フォームにて申込。携帯サイトでも可。
<http://www.bunkakoenkai.jp/>

【申込先・お問い合わせ】
応現院文化講演会実行委員会事務局(えくてびあんに) 〒190-0012
立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F 電話 042-523-9898
【締 切】2月29日(金) 必着 定員700名



長谷川和夫氏

第5回 応現院文化講演会

「認知症の医療とケア—今とこれから—」
元聖マリアンナ医科大学長 長谷川和夫氏
2008年3月15日(木) 午後2時開演
講演会終了後、応現院内をご見学いただけます。

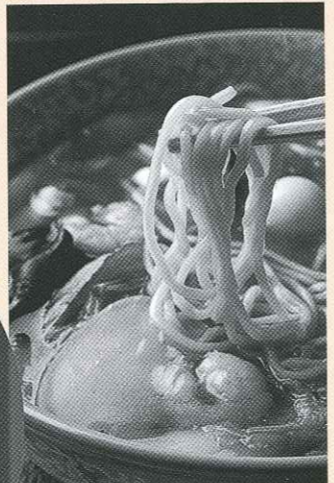
この人この店 55

中華料理

ハルピン

黒井 昭博さん

立川駅近く東武ストアにお店を開いて23年。諏訪通り商店街の現在の場所に移って7年になります。何にしようかな～なんてメニューサンプルを眺めていると、お店の中からこやかな笑顔で声をかけてくれるのが黒井昭博さん。この笑顔がステキなんです！初めてでも、ず～と前から知っている人みたい。人気メニューは広東麺。すこし甘くてとろみがあって、おしょうゆベースで飽きがこない。今週の定食はお得感バッチリ。お好みでミニラーメンかミニワンタンがつけられます。ミニと言っても結構な量なので、おなかはいっぱいです。長く調理場を守っているのはお父さんの征四郎さんとお母さんの千枝さん。ご両親の味を接客で台無しにはいけないと、笑顔で頑張る昭博さん。「好かれる店より嫌われない店になりなさいと言われてきたんです」。謙虚な姿が本当にすがすがしい！



〒190-0023

立川市柴崎町2-2-18

TEL 042-527-1809

営業時間 11:00～21:00

定休日は不定



写真撮影：五来孝平

立川の
お作法

中野 豪清

第7回

食事について



挿画：綾 幸子

食べるということは楽しいことである。食堂で見る子どもたちの喜々とした顔や、夕餉を囲む家族の団欒は食の楽しさである。美味しいものを食べ歩いたり、料理法などは毎日のようにどこかのテレビ局で取り上げている。人は食によって生命が保たれている。食べることに對しては無関心ではいられないのだ。むかし、ある国の王様が、その人となりを見るに「君の食べ方を語れ。然らば君が如何なる人であるかを自分は当てることできる」と、箸の上げ下ろし、フォーク、ナイフの扱い方の大切さを語っている。

一般には、食前に「頂きます」、食後に「ご馳走さま」を言う。食べる速度について礼法古文書に、「上下、甚だ急に、甚だ緩、なからしむ、なかれ、切に思む、甚だ急に、食しおわって、手を供して、衆を視ることを」とあり、食べる速度を周囲と合わせる事を教えている。

嫌悪感を与えない食べ方は、食器の音や、ムシャムシャ、ベチャベチャ、ゴクゴク、歯すり、舌つみ等の口の音、生理的なクシャミ、シャッキリ、腹音、ガツガツした感じや、カジリ方等のあさましさ、犬食い、ながら食い、食前の喫煙はしない。

和食を美しく頂くには、箸の使い方が大切である。箸の持ち方は、一本(上の箸)は人指し指、中指、親指の三指で持ち、一本(下の箸)は薬指の第一関節の背と親指、人指し指の間で動かない様に支える。上の箸のみ動かして挟む様にす

る。嫌われる箸の扱いには次のようなものが挙げられる。

移り箸 菜を喰い ご飯喰わず 菜を食う 菜から菜と移り行く箸。 **かき箸** お茶碗の縁に口あて 箸により かき込むことをかき箸という。 **空箸** 空箸は 菜の上をば 行き来して 摘まず戻る 箸を云うなり。 **込み箸** 口の中 一杯入り 更になお箸で押し込む 様ぞ込み箸。 **探り箸** 汁物を かきませ中の実 探り喰う 探り箸とぞ名づくものなり。 **刺し箸** 菜の物 千切らず摘まず 箸により 突き刺し喰うを 刺し箸という。 **指す箸** 指す箸は 食事しながら 箸先を 他人に向けて 指す箸をいうなり。 **せせり箸** 無作法の ささくれ取るよ 割り箸の 割って擦り合う せせり箸かな。 **袖越しの箸** 遠くある 菜を取ろうと 腕のばす 着物の袖が 菜を越え行く。 **叩き箸** 打ち鳴らす 茶碗や皿に 悪を呼び 災いくると 嫌うものなり。 **涙箸** 菜を持つ 箸の先から 汁落とす 涙にたとえし 涙箸かな。 **握り箸** 飯喰うに 箸の持ち方 知らぬまま 揃えて握る 握り箸かな。 **ねぶり箸** 食い終わり 箸についてる汁などを 口に入れて なめる箸かな。

迷い箸 あれこれと 思い定めず うろつくを 迷い箸と 嫌うものなり。 **寄せ箸** 手によらず お箸をもって 遠くある 器引き寄せ 箸を云うなり。

食べるという行為は、本能むき出しの、動物の餌取り動作に通じる。いやしい心を戒め、他人に不快感を与えない、美しい食事作法を身につけたいものだ。

表紙の人

田中豊輝さん(柏町)

歌うことは楽しい。練習して、もっとうまく歌えるようになるのなら、なお楽しい。みんなで歌えばさらに。テノールのソリストとして活躍する一方、コンクールで優秀な成績をおさめるトップレベルの合唱団指揮者、ボイストレーナーとして指導に当たる。中学時代に出会った合唱への思いが国立音大、同大学院と現在まで導いてきた。撮影も立川の誇る音楽活動拠点、カンマーザールの練習室でお願いすることになった。さあ歌いましょうと、指揮しながら自らも歌うつもりで……心浮き立つ歌声に、寒さも吹き飛んでしまう。

曙町「カンマーザール in 立川」にて
写真：細江英公

かたこと

一年でいちばん寒い時期も節分、立春を過ぎると春の気配が感じられます▼夏の猛暑酷暑と対照的に寒さが身にこたえる冬でした。この号がお手もとに届く頃はかががでしょう。「えくてびあん」誌面からも、春の息吹が伝わるでしょうか▼草や木も動物も冬を越して新しい命が育つには並々ならない苦勞があります。人間だってそうです▼対談の山中ゆう子さんが代表をつとめる「いれたち」は、お母さんたちが共に子育てのために力や知恵を出し合うグループ▼<ここがタチカワ……>では「いれたち」と、子育て中でも子どもと一緒に映画を楽しめる「シネマのたまてばこ」を実現させたシネマシティのご紹介▼苦勞している人、困っている人をお互いさまでさりげなく助け合う人の輪。ちょっと昔はごく自然にあった美風が見直されている。それが立川で実現しているのはうれしい▼昔の人たちが思いを託して刻んだ石碑を紙に写しとる拓本。VIEWは立川拓本研究会です▼國井寿美枝会長を中心にした活動は、ひっそりと立つ石碑に新たな光を当てること、でもあります▼寒い中にも日は少しずつ長くなり、万物の動き出す春はもうすぐ。えくてびあんも、厚着を一枚脱いで軽快な動きでまいたいと願っています。(芳)

スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中葉子

デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)

AMNET design factory

写真 五来孝平

えくてびあん (C) 2月号

第26巻 通巻279号

平成20年2月1日発行

発行 えくてびあん編集工房

〒190-0012

東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F

TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065

編集人 芳賀敏博

発行人 加賀悦也

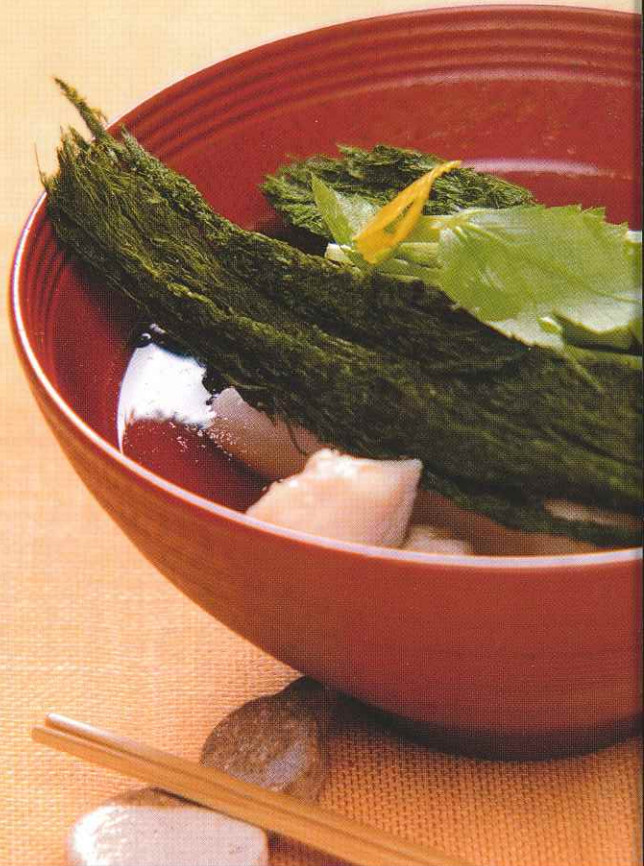
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

おうちでおいしい 和風だし

① 指導 三上康子 (三上鯉節店)

手間ひまいらずのインスタントだしは簡単だけれど、
やっぱり本物を味わいたい。舌にも胃にも心にも、
ほっとする優しさ。それが日本の上品な味。今回はお雑煮。



【お雑煮】

使うのは花かつお。こんがり焼き
目をつけたお餅に、かしわ、三つ葉、
青のりをたつぷりのせて、ゆずの皮
をあしらいだし汁を注ぐ。お椀に
ふたをしてお膳へ。ふたを取った時
の香りはなんともいいない。

つけあわせ「菊花かぶ」

花かつお

